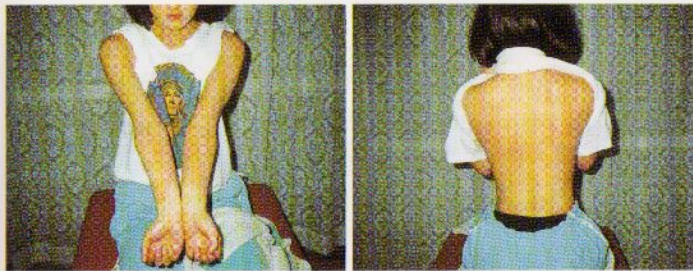


The Episode of Oil Massage④アトピー性皮膚炎

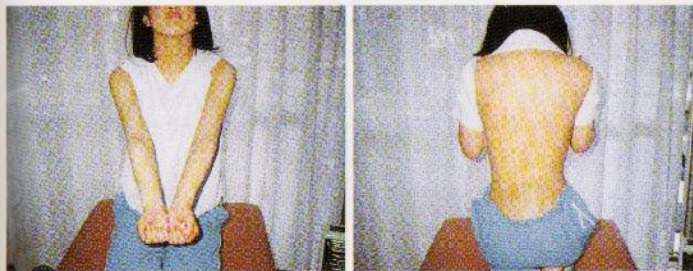
体質研究所主宰 松原秀樹

開業して間もなく、初めてアトピー性皮膚炎の女子高生を見た。治療してほしいという依頼だった。

頭から足までの全身がひどい皮膚炎で、何年か皮膚科でステロイドをもらって治療していたけど一向に治らず、ステロイドの副作用についても知ったので、ステロイドを使わないで治したいとのことだった。



平成4年1月24日



平成4年5月29日

週一回の整体治療のほか、家で毎日#41(ホホバオイル)を全身にマッサージしてもらった。その量ナント!1ヶ月に10本!3日に1本の割合。1本は120mlだから、毎日40mlのオイルを擦り込んだことになる。

初回は母親と一緒にいらしたので、食事指導をして、できるだけ実践してもらった。

入浴もハーブを入れて、保湿力を高めるようにした。

大変だったのは、治療を始めて3ヶ月から4ヶ月の期間だ。ステロイドのリバウンドで、症状が悪化するのだ。しかし、ステロイドの副作用を理解しているから、この辛い時期を必死に耐えて乗り越えてくれた。

5ヶ月目から少しずつ改善してきて、6ヶ月目には首回りと肘や膝の裏など患部が限定されてきた。そして治療を始めて**8ヶ月で完治**した。

使用したホホバオイルも1ヶ月10本必要だったのは最初の6ヶ月だけで、その後は徐々に減って行って最後は月に1本で足りるようになった。

治療はその後も続けて、1年経ったときにはナント!透き通るような超きれいな素肌に変身してしまった!

その子は今、横浜のブティックで働いているらしい。ご本人とはもう20年お会いしていないが、その店のお客様の一人が私の整体院に来て、「彼女は今でも透き通るようなスゴイきれいな素肌をしていて、それが店でも評判になっている!」と教えてくれた。

その子が完治したのを見て、彼女の近所に住んでいる歳が近い男女 3 人が治療に来るようになった。

ところが、この 3 人のうち 2 人は治らず、一人は治ったけれど 3 年以上もかかった。

また別なご縁で依頼されたアトピー性皮膚炎の女子高生もいた。

母親と一緒に新宿の喫茶店でお会いして、「どうすれば治るか」説明した。

一度も整体を受けはしなかったが、私の指導を自宅で忠実に実行して、なんと **6 ヶ月で完治**してしまっただ！そして、「こんなにきれいになりました」という写真を添えて、お礼状を送ってくれた。



わずか 6 ヶ月で完治！

治る人と治らない人の差は、どこにあるのか？

治る人は、母親と一緒に相談に来る。これは非常に重要なのだ。「何を食べるか」は治療法の重要な一要素であり、一家の食生活を管理しているのは母親だ。母親が食事に無神経だと、“身体に悪い食生活”を今まで通り続ける。また、患者に我慢させているチョコレートやケーキやファーストフード・スナック菓子などを、兄弟が平然と食べていたりする。

アトピーの人は共通して、**チョコレートやケーキなど“糖質と悪い油脂”を摂りすぎている。治したければ、こういった食品を一時期、徹底して避ける必要がある。**

そもそも母親と一緒に来ないというのは、子供の健康に無関心なのだ。当然、治療にかけられるお金も少ないので、オイルも十分には使えない。

治すには、数ヶ月間、高品質のオイルをたっぷり使うことが必要だ。皮脂が再生するまで、乾いたら即オイルで保護するという**“徹底した保湿管理”**をしなければいけない。

最近では、「竹布」という抗菌性に優れた繊維で作られた下着やタオルなども手に入る。こういう製品も、できるだけ使ったほうがよい。

アトピー肌は概して、ひどく“乾燥”しているが、**もっとも皮膚の乾燥を助長するのが、入浴だ！風呂に入れば入るほど、皮脂がなくなって肌がカサカサになるのだ。**入浴などしなくても、「桧水」を活用すれば、患部の二次感染を防ぐことはできる。「アトピー治療に入浴」という常識を疑うべきだ。

アトピー治療の経験から、アトピー治療のポイントは、次の3つにまとめられる。

- ①**徹底した皮膚の保湿管理**（オイルマッサージ・入浴制限・桧水・竹布・湿潤パッド etc）
- ②**徹底して砂糖と悪い油脂を控える**（家族の理解と協力が重要）
- ③**歯科重金属と歯周病・虫歯の治療**（不健全な歯が免疫異常の根源！）